

施工方法（粉末タイプ）

プラスターボード

※クロスを剥がしたプラスターボードは、14ページをご覧ください。
コーナー定木を使用する場合は20ページの手順に従って施工してください。

珪藻土壁材〈エコ・クイーン〉は弾力性がありません。施工前に下地に動きがないか確認の上、施工してください。

1 石こう部分にシーラー塗布

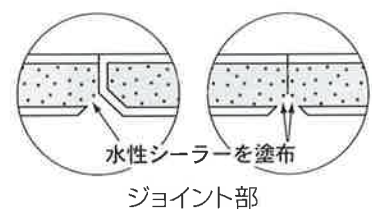


シーラー塗り忘れは、クラック防止効果を低下させますので、ご注意ください。

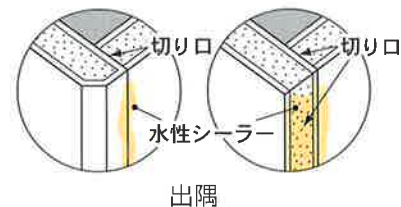
ボードが裁断されて、中の石こうが見えているジョイント部やコーナー部に水性シーラーを塗って吸水を抑えてください。

吸水抑えが不十分だと、色ムラの原因になります。

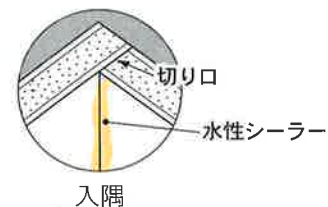
ボード面に墨打ちの線や水性ペンなどによる書きこみがある場合は、濡れ雑巾で拭き取ってください。仕上げ面に出てきます。



水性シーラーを塗布
ジョイント部



切り口
水性シーラー
出隅



切り口
水性シーラー
入隅

コーナー定木を使う場合は20ページ参照

2 目地埋め（ビス穴凹み埋め）



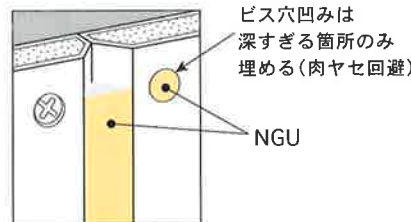
2.余分な材料をしごき取る
1.壁材を埋め込んで

固めに練った下塗材〈NGU〉で埋める。
（肉ヤセ回避）

ボードのジョイント部のV字溝を下塗材〈NGU〉で埋め、ボード面と平滑になるよう余分な材料をしごき取ってください。（図A参照）
深すぎるビス穴凹みや大きなすき間がある場合も、同様に埋めておきます。（1mm程度のビス穴凹みは埋める必要はありません。）

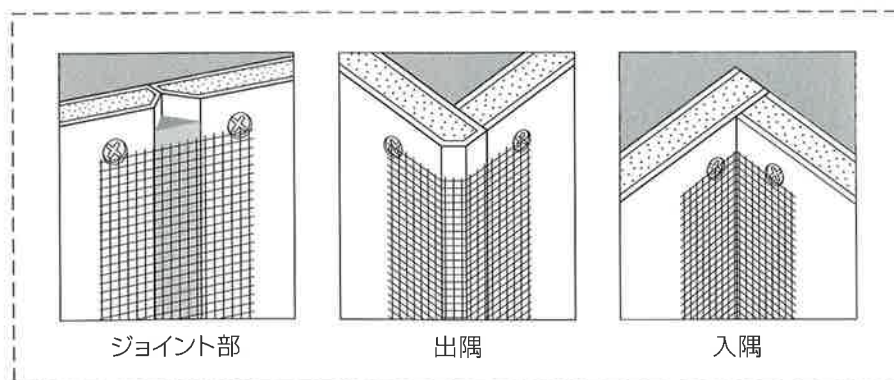
市販のパテ材は使用しないでください。色ムラの原因になります。

図A



ビス穴凹みは深すぎる箇所のみ埋める（肉ヤセ回避）
NGU

図C

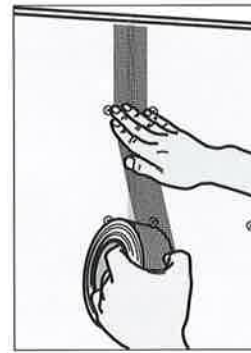


ジョイント部

出隅

入隅

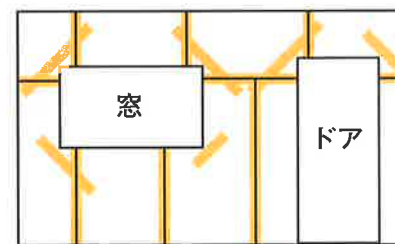
3 ファイバーテープ貼り



ボードの継ぎ目（ジョイント部・出隅・入隅）、および、開口部（窓・ドア）の角にファイバーテープを貼ってください。（図B・C参照）
のり付きではないファイバーテープの場合は、タッカーで留めてください。

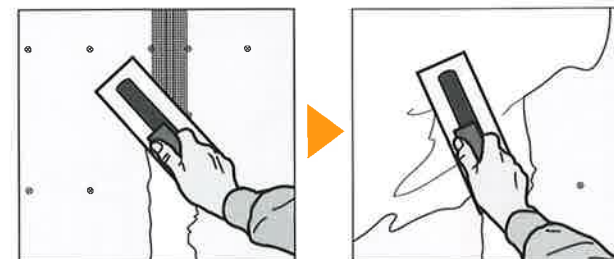
ファイバーテープは、よじれたり浮いたりしないようしっかりと密着させてください。

図B



開口部の角にも貼って補強

4 下塗り



ファイバーテープ部分をしごき塗りしながら全面に下塗材〈NGU〉を塗ってください。
（標準施工厚：1mm）

下塗りですらな面を作っておくことが、仕上材をきれいに塗るためのポイントです。

厳寒期は、凍結させないように配慮してください。

乾燥

5 仕上げ塗り

仕上材を塗ってください。
（標準施工厚：2mm）

仕上げ塗りの要領は22ページ



注意

- 仕上げ塗り完了後、4～5日間は、室内が多湿状況にならないよう換気を心がけてください。乾燥までに多湿状況がつづくとき色ムラが起こる場合があります。
- 仕上材の塗り厚が薄すぎた場合、結露防止等の機能が落ちるだけでなく、硬化不良（ドライアウト）を起こして粉っぽい仕上がりになることがありますので、ご注意ください。